

# 10 新たな産業づくり

## 農林水産業と商工業の連携強化

### 現 状

- 県内には農林水産資源が豊富に存在しますが、食品製造業の出荷額は伸び悩んでいます。
- 農商工連携や6次産業化による商品開発やマーケティング活動、人材育成活動等が行われています。

### 最近の特徴的な取組

- 専門家を交えたABC（あおもり食品ビジネスチャレンジ）相談会を活用した事業者連携による新商品の開発
- 県外の中食・外食業者等を対象とした県産業務用食品等のセールス活動を展開しながら取引先のニーズ把握、県内事業者とのマッチングを支援

### 今後の推進方向

#### <豊富な農林水産資源を生かした新たな商品、産業、雇用の創出>

- 農林漁業者・食品製造業者・流通販売業者、それぞれの強みを生かした新たな連携の創出
- 中核となるプレイヤーを育成し、地域の6次産業化を推進
- 新たな成長分野の商品提案による県産農林水産物の販路拡大

#### ○農商工等連携事業計画認定

農林漁業者と中小企業者が共同で行う新たな商品やサービスの開発等に係る計画について国が認定を行い、この計画に基づく事業に対し、政府系金融機関による低利融資等の支援を行うことにより、農林漁業と商工業等の産業間連携を強化して地域経済を活性化しようとするものです。

事業計画の認定件数 14件（令和3年1月現在）

#### ○六次産業化法に基づく事業計画の認定

農林漁業者（1次産業従事者）が生産や市場出荷だけでなく、自ら加工（2次産業）や、流通や販売（3次産業）に取り組むなど、経営の多角化を進める取組に係る計画を国が認定し、農山漁村の雇用確保や所得向上につなげるものです。

事業計画の認定件数 71件（令和3年1月現在）

#### ○農商工連携食産業づくり相談窓口

##### ①目 的

農林漁業者や食品製造業者等の情報を集約・活用しながら、新たな連携づくりや食に関する相談、新商品の商談促進など総合的に対応する

##### ②設 置 平成22年4月（総合販売戦略課、各地域県民局地域農林水産部）

##### ③相談件数（令和元年度実績）（単位：件）

区 分	相談件数
合 計	470
1 次	145
2 次	165
3 次	114
その他	46



県外企業と地元企業の商談

# 地方独立行政法人青森県産業技術センターの取組

地方独立行政法人青森県産業技術センターは、工業・農林・水産・食品加工の4つの研究部門が一体となった試験研究機関です。

新たな技術や製品開発、地域の生産者や企業のニーズに応じた研究、分析・試験・調査、技術相談・指導のほか、各種研究会、講演会等で技術情報を提供しています。

## 組織体系



### 地方独立行政法人 青森県産業技術センター

#### 本部(黒石市)

理事長 — 企画経営室 (法人運営、研究企画・調整)  
 総務室 (庶務・出納・経理)

#### 工業部門

工業総合研究所  
(青森市)

弘前工業研究所  
(弘前市)

八戸工業研究所  
(八戸市)

#### 農林部門

農林総合研究所  
(黒石市)

野菜研究所  
(六戸町)

りんご研究所  
(黒石市・五戸町)

畜産研究所  
(野辺地町・つがる市)

林業研究所  
(平内町)

#### 水産部門

水産総合研究所  
(平内町)

内水面研究所  
(十和田市)

#### 食品加工部門

食品総合研究所  
(八戸市)

下北ブランド研究所  
(むつ市)

農産物加工研究所  
(六戸町)

工業部門では、県内企業が抱える技術的な課題の解決に向けた技術相談や依頼試験等による支援に加え、ものづくりの各分野における研究開発などを行っています。



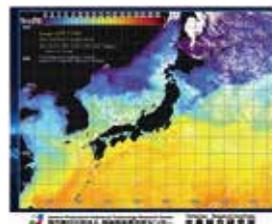
プロテオグリカン関連商品の開発支援

農林部門では、水稲、ながいも、りんごなどの新品種の育成、肉用牛の基幹種雄牛や特産地鶏など家畜の改良、農林産物の高品質・安定生産や森林の管理技術の研究などを行っています。



大玉で食味優れるさくらんぼ「ジュンハート」の育成

水産部門では、海洋や内水面における漁場環境、資源管理、漁業管理技術、栽培漁業・養殖技術の調査・研究などを行っています。



海況観測情報等の提供

食品加工部門では、本県の豊かな農林水産物を生かした加工品の研究開発のほか、加工グループ、企業に対する技術移転や指導などを行っています。



地サイダーの開発を技術支援